

松田町における 公共交通機関の今後について



質問者
古谷 星士人 議員

星士人 議員



運送業界の2024年問題は、運転手不足を背景に路線バスなどは運賃の値上げ、減便によって利用者の利便性が損なわれてきています。

次のことについて伺いたします。

質 Aオンデマンドバス運行状況について。



のるーと足柄

利用状況が改善されないで運行継続が困難になるため、利用しやすいように改善をする。

令和7年度は、75歳以上の方や妊産婦さんを対象に補助金を出し

答 Aオンデマンドバスは、路線バスの運行されていない地域や時間帯をカバーするため乗降場所を多く設置し利用しやすいようにしている。

令和6年6月から、運行体制の見直しを行い3台での運行をしているが目標にはほど遠い状況である。

公共交通機関の利用を促進する

回答（町長）



て利用者の増加につながる支援を開始する。

質 路線バス（新松田管理センター）の利用促進策について。

答 路線バスの利用促進策として、学生等に対する通学定期券助成、高齢者・障害者への定期券助成、バス事業者には枝線運行、増発便運行に対し支援をしている。

夜間最終便延長については、みやま運動広場の夜間利用したい団体等が見込まれることや地域からの要望を踏まえ、地域公共交通会議で提案していく。

新松田駅周辺整備事業に伴う 景観の変化と町の支援策について



質問者
田代 実 議員

田代 実 議員



松田町始まって以来の最大プロジェクトである新松田駅周辺整備事業の総額は150億9千万円とのことで、既に昨年の3月に事業協力が決まり本年11月には市街地再開発事業の都市計画決定が予定されています。

そこで、現時点の計画をもとに次の3点について町長にお伺いします。

質 集約施設（マンション他）整備計画は、13階建ての高層ビルのため景観が大きく変わりますので、影響を受ける隣接居住者に対して町の説明責任は。

答 これまでの住民説明会では、特に隣接居住者から景観・日影・ビル風など不安の声が出ている。

再開発ビル内に 子育て施設などを 整備し、価値を 高める

回答（町長）



答 再開発ビルの中に公益的施設を設置し、子育て

事業の進捗に合わせ、周辺自治会住民や町民を対象に、その影響がどの程度なのかコミュニケーションを提示して理解を求める。

質 集約施設の工費は高騰しているため、事業遂行は厳しい状況にありますが、町の補助金以外の支援策は。

て支援や町の諸証明を発行できる機能を検討している。そのために、保留床1000㎡を町が購入し、再開発ビル等の価値の向上を図り、資金計画が安定するよう支援したい。

質 駅周辺整備事業完了後のペDESTリアンデッキ、集約施設内の公共通路（エレベーター他）、駅前広場などの管理に係る町の負担は。

答 集約施設（マンション他）内の通路やエレベーターの管理は、完成後に設立予定の管理組合と協議する。駅前広場やペDESTリアンデッキ（自由通路）の維持費は、現時点では未定だが、他事例を参考に検討していく。



新松田駅周辺整備後のイメージ